

日本写真測量学会平成20年度年次学術講演会

プログラム

開催日時： 平成20年6月19日(木) 9時30分～17時15分 参加費無料：論文集 2,000円(会員/非会員共)
 13時00分～14時00分 特別講演会演題「地理空間情報社会の創出と産学官の役割」：小牧和雄(国土地理院長)
 18時00分～ 懇親会：「横浜桜木町ワシントンホテル」
 6月20日(金) 9時30分～16時30分

開催場所： パシフィコ横浜 アネックスホール (F205・F206)
 〒220-0012 神奈川県横浜市西区みなとみらい1-1-1
 Tel: 045-221-2155 HP: http://www.pacifico.co.jp/

第1日目 6月19日(木)

9:30-9:45

開会のあいさつ

会長 村井 俊治

F205		司会 鎌形哲彦()	
セッションA	リモートセンシング(植生)		
9:45-10:00	A-1 SPOT VEGETATIONによるタクラマカン砂漠周辺部の植生モニタリング 柴田健一・牛島拓也((株)シービーエス)・その他1名		
10:00-10:15	A-2 森林における二方向性反射特性と樹冠形状の関係 小野祐作・梶原康司(千葉大)・その他1名		
10:15-10:30	A-3 指標NDVIによるASTER画像からのナラ枯れ発生域抽出 宇都宮有昭・小杉幸夫(東工大)・その他1名		
10:30-10:45	A-4 植生の水ストレス傾向を検出するための手法開発 III 小野朗子(JAXA/EOIRC)・梶原康司(千葉大)・その他1名		

F206		司会 武田(国際航業)	
セッションD	画像判読		
9:45-10:00	D-1 航空写真を用いる森林資源調査手法に関する研究開発 范 海生(立正大)・平沼 茂((株)いであ)・その他1名		
10:00-10:15	D-2 デジタル航空写真画像と航空機レーザスキャナデータによる河川状況の把握について 廣瀬葉子・大谷 徹(国際航業(株))・その他3名		
10:15-10:30	D-3 RADARSAT-2衛星のSAR画像を用いた判読検証 村木広和・吉野辰晴((株)イメージワン)		
10:30-10:45	D-4 輪郭線追跡を用いた衛星画像中の物体抽出 細村 幸・木村雄太(東京電機大)		

10:45-11:00

休憩

F205		司会 今井靖晃(国際航業(株))	
セッションB	リモートセンシング(環境)		
11:00-11:15	B-1 衛星画像を用いたウルムチ市における熱環境の調査に関する研究 クドス イمام・細村 幸(東京電機大)		
11:15-11:30	B-2 黄土高原における温度特性の把握 谷川 聡(長崎大)・木村礼二(鳥取大)・その他1名		
11:30-11:45	B-3 リモートセンシング画像とGISデータを用いた屋上緑化の自動抽出 関谷奈美・山崎文雄(千葉大)		
11:45-12:00	B-4 NOAA/AVHRRを用いた陸域可降水量の時間変動評価 赤塚 慎・竹内 渉(東大生研)・その他1名		

F206		司会 山下 恵(近畿測量)	
セッションE	災害・防災		
11:00-11:15	E-1 MTSATとMODISを併用したアジア大規模森林野火災の延焼時間推定 松村祐輔・竹内 渉(東大生研)・その他2名		
11:15-11:30	E-2 MODISデータによるアラスカの森林火災検知に関する研究 本田謙一・木村圭司(北海道大)・その他2名		
11:30-11:45	E-3 車載型地上レーザ機器を用いた自動倒壊家屋抽出手法の検討 笹川 啓・渡部金一郎(国土地理院)		
11:45-12:00	E-4 新潟県中越沖地震の前後2時期の空中写真を用いた自動倒壊家屋抽出手法の開発 渡部金一郎・笹川 啓(国土地理院)・その他3名		

12:00-13:00

昼食

13:00-14:00 特別講演会 開催場所：アネックスホール F201・F202
 題名：「地理空間情報社会の創出と産学官の役割」
 講演者：小牧和雄(国土地理院長)

特別セッション		司会 土田 聡(産総研)	
14:15-15:45	S-1 GEO Gridによる衛星情報の管理・処理・発信 土田 聡・中村良介(産総研)・その他11名		
	S-2 GEO Gridにおける共通大気補正アルゴリズムの実装と評価 山本浩万・亀井秋秀(産総研)・その他5名		
	S-3 GEO Gridにおける災害軽減アプリケーションの実装 松岡昌志・児玉信介(産総研)・その他8名		
	S-4 衛星画像および既存の土地被覆図の組合せによる全球都市域マッピング手法に関する研究 宮崎浩之・田中純子(東工大)・その他2名		
	S-5 GEO GridにおけるASTER/DEM作成および検証システムの実装 岩男弘毅・山本直孝(産総研)・その他4名		

15:45-16:00

休憩

F205		司会 赤塚 慎(東京大)	
セッションC	リモートセンシング(土地利用・土地被覆)		
16:00-16:15	C-1 ホルチン砂地の生態安全評価に関する研究 平 春・范 海生(立正大)・その他1名		
16:15-16:30	C-2 時系列MODISとETMを用いたタイ国チャオプラヤ河中流域における洪水と水稲作付けパターンとの関係 高橋 勇・長澤良太(鳥取大)・その他3名		
16:30-16:45	C-3 記号列処理アルゴリズムを用いた高頻度観測衛星データの高速処理 澤田義人		
16:45-17:00	C-4 土地被覆オブジェクトと空間解像度の関係 越智士郎(近畿大)		

F206		司会 國井洋一(東農大)	
セッションF	GIS(河川・植生)		
16:00-16:15	F-1 住民参加型流域管理における空間情報の役割に関する研究 川村尚子・後藤真太郎(立正大)・その他1名		
16:15-16:30	F-2 GISを用いた河川汚濁負荷推定とリスク管理に関する研究 韓 鏡・李 莉(武蔵工大)・その他1名		
16:30-16:45	F-3 延焼防止の観点からの植生配置に関する分析 熊谷樹一郎・伊勢木祥男(摂南大)・その他1名		
16:45-17:00	F-4 3次元移動支援検索システムの開発 李 景俊・姜 昊(武蔵工大)・その他1名		
17:00-17:15	F-5 時空間データ編集システムによる修正図化の試行 路 毅・牛島拓也((株)シービーエス)・その他1名		

18:00-20:00 懇親会：「横浜桜木町ワシントンホテル」
 会費：5,000円 Tel: 045-683-3111

第2日目 6月20日(金)

F205		
セッションG	数値地形モデル	司会 松岡真如(高知大)
9:30-9:45	G-1	森林デジタルオルソ画像作成における数値標高データの検討 中田隆司(アジア航測(株))・和田幸生(日本林業技士会)・その他1名
9:45-10:00	G-2	RealScapeステレオ処理システムによって作成したDSMの精度検証 小泉博一・柳生弘之(NECシステムテクノロジ(株))・その他5名
10:00-10:15	G-3	相関法に基づくステレオカメラ・セルファジャストメント 中川雅史・河井良浩(産総研)・その他2名
10:15-10:30	G-4	SPOT5衛星のHRSを用いたDSMの精度検証 吉野辰夫・村木広和(株)イメージワン)・その他1名
10:30-10:45	G-5	TerraSAR-Xデータを用いたヒマラヤ地域におけるDEMの作成と検証 山根尚文・野中崇志(株)パスコ)・その他2名

10:45-11:00

休憩

ALOS(写真測量)		
セッションH		司会 中野一也(朝日航洋)
11:00-11:15	H-1	ALOS/PRISMのRPCモデルを用いたステレオ図化精度検証 佐藤社紀・水田良幸(国土地理院)・その他3名
11:15-11:30	H-2	ALOS-PRISM画像を用いた地図データ作成の検討 中西芳彦・小田三千夫(国際航業(株))・その他1名
11:30-11:45	H-3	中高解像度衛星画像の図化精度に関する評価 内田 修・新名恭仁(アジア航測(株))・その他2名
11:45-12:00	H-4	中高解像度衛星画像のDSM抽出精度に関する検証 新名恭仁・内田 修(アジア航測(株))・その他1名
12:00-12:15	H-5	簡易幾何モデルを用いた衛星三次元計測の精度 中川淳洋(高知工科大)
12:15-12:30	H-6	有理関数モデルを利用したALOS/AVNIR-2の幾何補正 松岡真如(高知大)

12:30-13:30

昼食

ALOS(リモートセンシング)		
セッションI		司会 野中崇志((株)パスコ)
13:30-13:45	I-1	衛星画像を用いた国土基本図整備手法の研究 高橋佳昭(RESTEC)
13:45-14:00	I-2	H19秋東北水害のALOS/PALSARによる解析事例 山田康晴(農研機構農工研)
14:00-14:15	I-3	だいちデータ利用促進のための省庁共同研究 上村治睦(JAXA)
14:15-14:30	I-4	ALOS/AVNIR-2を用いたナラ枯れ現状把握 上林徳久(RESTEC)
14:30-14:45	I-5	だいちによる小規模多発土砂災害の把握事例について・平成19年7月集中豪雨による南大隅災害を事例にして・ 清水孝一(国総研)・森田真一((株)パスコ)・その他2名
14:45-15:00	I-6	北海道サロベツ湿原の土壌環境分布推定へのALOS/PALSARの活用 高田雅之(北海道環境科学研究センター)・井上 京(北海道大)・その他3名

15:00-15:15

休憩

リモートセンシング(雪氷・大気)		
セッションJ		司会 山本浩万(産総研)
15:15-15:30	J-1	ハイビジョンカメラを用いた砕氷船からの海水厚の3次元画像計測 橋本佑太・矢口龍太・長 幸平・その他1名
15:30-15:45	J-2	多時期MODIS画像による地域特性を考慮した積雪分布推定手法の検討 坂田健太・カ丸 厚(長岡技科大)・その他2名
15:45-16:00	J-3	デジタルカメラを用いた大気混濁度推定の可能性検討 森山雅雄(長崎大)
16:00-16:15	J-4	NOAA/AVHRRセンサの経年変化に起因するNDVI誤差の特徴 丹波澄雄・飯倉善和(弘前大)

16:15-16:30

閉会のあいさつ

F206		
セッションK	GIS(都市)	司会 井上 亮(東京大)
9:30-9:45	K-1	土地利用分析における空間的相関を考慮した離散選択モデルの適用 宮城卓也・堤 盛人(筑波大)・その他1名
9:45-10:00	K-2	金沢市の災害時帰宅支援マップの改良 渡邊陽介・後藤公彰(金沢工大)・その他1名
10:00-10:15	K-3	GISによる地域効用期待に関する研究 酒井聡一(立正大)・坪井望太郎(立正大ORC)・その他1名
10:15-10:30	K-4	地区特性に配慮した広域的な建物密集度分析手法の検討 熊谷樹一郎・川原広誉(摂南大)・その他1名
10:30-10:45	K-5	多摩ニュータウン地区における明治以降の土地被覆変化と地形との関連 小荒井 衛(国土地理院)・長谷川裕之(文部科学省)・その他1名

航空機レーザ計測		
セッションL		司会 坂元光輝(アジア航測)
11:00-11:15	L-1	レーザースキャナ計測における基準点の種類と精度 宮崎倫理・木下 和(高知工科大)・その他1名
11:15-11:30	L-2	航空レーザデータからの高精度フィルタリング手法の開発 張 馳・袁(武蔵工大)・その他1名
11:30-11:45	L-3	次世代航空レーザ計測機器による高品質データ 千田良道・鶴岡 尚弘(中日本航空(株))・その他2名
11:45-12:00	L-4	山地斜面におけるDEMデータの精度検証 横尾泰広・大石 哲(国際航業(株))・その他3名
12:00-12:15	L-5	航空レーザースキャナデータを利用した崩壊地抽出支援手法 佐藤 匠・久保 毅(国際航業(株))・その他5名
12:15-12:30	L-6	航空レーザ計測を用いた土砂変動量の解析手法の改良 岩崎重明(アジア航測(株))

写真測量		
セッションM		司会 長井正彦(東京大)
13:30-13:45	M-1	パラボラアンテナ形状の精密計測 服部 進(福山大)・大西芳幸((有)画像計測研究所)・その他1名
13:45-14:00	M-2	カラーコードターゲットを用いた写真計測による配筋検査の自動化 小野 徹(ズームスケープ)・服部 進(福山大)・その他1名
14:00-14:15	M-3	バンド間相関を考慮した楕円型フィルタによる空撮画像からのコーナー抽出 坂元光輝(アジア航測(株))・小杉幸夫(東工大)
14:15-14:30	M-4	Web Photogrammetryの活用による災害情報共有の効率化に関する考察 本間亮平・野中秀樹(アジア航測(株))・その他1名
14:30-14:45	M-5	デジタル航空カメラによる夕刻撮影の試み 渡部金一郎・笹川 啓(国土地理院)・その他3名
14:45-15:00	M-6	異なる縮尺の地図からの対応点の抽出 神谷 泉(国土地理院)・井熊 徹((株)パスコ)・その他1名

プロジェクト報告		
セッションN		司会 中川雅史(産総研)
15:15-15:30	N-1	秋季～冬季間における火山活動と地殻日変動 荒木春視(環境地質研)・村井俊治(日本測量協会)
15:30-15:45	N-2	富士山の2007年における地殻日変動 荒木春視(環境地質研)・村井俊治(日本測量協会)
15:45-16:00	N-3	環境センシブルアジア構想 竹内 渉・赤塚 慎(東大生研)・その他3名
16:00-16:15	N-4	地球観測データ共有のためのリモートセンシングオントロジーの構築 長井正彦・小野雅史(東京大)・その他1名

副会長